

令和7年度 第1回 日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する協議会 協議内容

開催日時： 令和7年7月3日（木） 14時～16時

開催場所： 日の出町教育委員会会議室

協議事項	意見(懸念事項・対策方針等)
1. 学生募集・周知に関する課題と提案	● 掲示のみでは学生への周知は不十分。亜細亜大学と連携し、大学内の協議会や学内ネットワークを活用した効果的なアナウンスが必要。武蔵野キャンパスへの周知も検討。 ● 日の出町の部活動と亜細亜大の部活動が種目としてマッチングするか考慮する必要がある。 ● 学生が魅力を感じるような呼びかけやインセンティブの提示が重要。
2. 地域移行の段階的な進め方	● 始めは「学校が主」を維持しつつ、(学生)→(学生+地域の方)→(地域主導)へと段階的に地域へ移行。 ● 学生の卒業や教員の異動による継続性の課題を踏まえ、柔軟な運営体制が必要。 ● 地域差や移動手段の問題も考慮し、町の実情に合った方法を模索。
3. 部活動指導員の配置に関する課題	● 財源確保が困難で、会計年度任用職員としての採用が現状難しい。 ● 希望者がいても予算がないことで断る事態は避けるべき。 ● 外部指導者には報償費支払いの対応を検討。 ● 母校へ無償で練習に参加してくれているOBの学生もいるため、報酬の支払いについて差が生まれないよう考慮が必要。
4. 地域移行と部活動の定義	● 「学校が関わる＝部活動」「地域主導＝クラブチーム」との認識があり、移行に伴う部活動の定義が曖昧。 ● 教育的要素を残すことが「部活動」としての意義を保つ鍵。 ● 地域移行の目的や定義を明確にする必要がある。
5. 他自治体との比較と日の出町の特性	● ある自治体では地域団体へ委託し、費用については保護者負担で運営している例もある。 ● 日の出町では地理的・交通的課題があり、同様の方式は難しい。
6. 高校生による外部指導に関する制限	● 都の補助金制度により高校生は対象外。予算枠の制約で指導機会が失われた事例あり。 ● 以前より日の出町で支援員としてお願いをしている方々と同様に報償費での支払いを検討。
7. 今後のスケジュールと対応	● 7月末：1次募集締切 → ガイダンス実施 ● 9月初旬：2次募集締切 → ガイダンス実施 ● 9月中：学生導入開始予定 ● 実施後：成果報告・継続意向の確認。